

# NEXT INFO ②

## 11年目のシーズン到来!

2020 ブース出展募集開始!!

他業種も含めみんなで掘り起こそう

# 新しい写真需要喚起策

フォトネクストを主催するプロメディアでは「NPO 法人家族の愛ぬくもり基金」（以下愛ぬく）を運営しています。2008年に東京都の認可を受け、2009年より本格的に始動。活動11年目を迎えました。

「愛ぬく」は、写真館関係者から「家族写真をもっと増やすための施策」について質問されたのが発足のきっかけとなりました。そこで考えたのが、「家族写真の代金の一部を、家族に恵まれない子どもたちへ義援金として贈る」という仕組みです。発足後、数100店に上る写真館が参加を表明。活動を示す店頭ウィンドー用POPやチラシ、代金の一部を義援金として贈ることを証明する「愛のぬくもりシール」を活用する写真館は現在も多数存在します。

2012年からは、児童養護施設での撮影ボランティアも開始しました。さまざまな事情で施設に入所する子供たちの大半は、プロフォトグラファーに記念写真を撮ってもらう機会がありません。そこで、この活動に賛同する全国の写真館やフォトグラファーがスタジオや施設で撮影できるよう、「愛ぬく」が橋渡しの役割を担い、両者を結びつけています。

現在では全国5カ所、主には卒業シーズンに記念撮影が行われています。撮影後、台紙など

に入れてプリントを施設に納品します。その代金は「愛ぬく」が負担しています。フォトネクストの会場受付では毎年、活動内容や参加募集についてガイドブック等でご案内しており、毎年多くのお問い合わせや参加表明をいただいています。

こうした活動を通じて感じるのが、「撮影機会のさらなる創出」です。施設によっては、ハロウィンやクリスマスパーティーなど、年間を通じてさまざまな行事を設けているところがあります。卒業シーズンのみならず、施設での楽しい思い出を写真に残す、あるいは「写真の楽しみ」を体感してもらうワークショップを行うなど、いろいろな可能性があると考えています。

「愛ぬく」参加店のなかには、成人式シーズンに撮影した記念写真を台紙に入れて納品しているところもあります。積極的な取り組みは大歓迎ですが、ここで1つ、新たな提案をしたいと思っています。毎年、5月と6月を「家族写真月間」とし、母の日にはお母さんに、父の日にはお父さんに、そして子供の日には親がお子さんに、写真とともにメッセージを贈る・飾るという啓蒙活動です。6月1日の「写真の日」にも、写真に残す大切さや、写真を飾る楽しさを発信できるイベントを設けたいですね。そして6月のフォトネクストにて、こうした活動の報告を行なっていただくとともに、



上：毎年NPO法人家族の愛ぬくもり基金では、児童養護施設で撮影ボランティアを実施。下：フォトネクスト2019では子連れの来場者も多く見られた。



## 5月6月を「家族写真月間」に

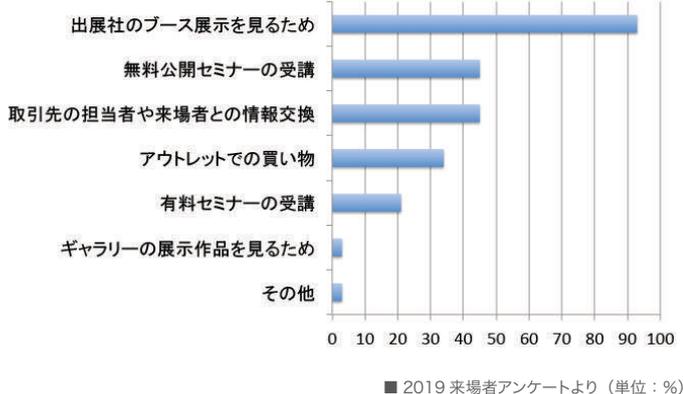
新たな需要喚起に向けて、業界をあげて考える機会とします。

「次なる10年」に向けて、いま写真が果たす役割とは何でしょうか。プロとしてできることは。

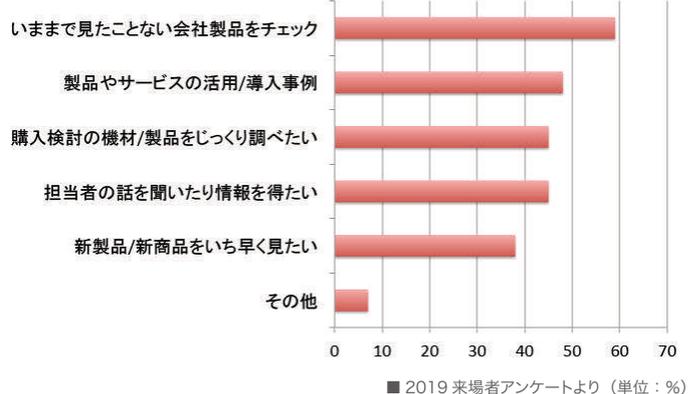
この機会に皆さんで考えてみませんか。企画が固まり次第、本誌およびFacebookなどでお知らせいたします。皆さんの忌憚のないアイデアもお待ちしております!

来場者 voice

来場の主な目的は？



ブース展示への期待、ブースを回る目的は？



来場目的は「出展社ブースを見るため」が9割以上

2019では10周年の節目に来場者アンケートを実施しました。このアンケートでは、興味深かったブースや参考になったセミナー名を記入していただく欄も設けましたが、ここでは選択式の質問項目の集計結果(回答率)にスポットを当てていきます。なお、選択項目の質問に関しては「1~3つまで選択可」とアナウンスしました。

まず「来場の主な目的」については、「出展社のブース展示を見るため」が93%と圧倒的に多かったです。開催5周年の際に実施したアンケートでも同様の質問をしましたが、そのときも8割以上を占めました。

「取引先の担当者や来場者との

情報交換」と「無料公開セミナーの受講」は、それぞれ45%に上りました。年に一度の機会に、現在使用している機材や今後導入予定の商材に関して、当該出展社の担当者との商談目的で来場する人の多さが伺えます。

2019では10周年特別企画として「ミラーレスカメラ体感コーナー」を会場内に設け、モデルや背景セットも用意して撮影デモシューティングを体験できるようにしましたが、モデル撮影よりもカメラメーカーの担当員とじっくり話し込む来場者も多い印象を受けました。

「ブース展示に期待すること、またどんな目的でブースを回っているか?」という質問では、「いままで見たことのない会社の製品をチェックしたい」が59%と1番高い結果となりました。新規出展

社が多ければ多いほど、「見たい」対象が増えるということです。

「製品やサービスの活用ノウハウや導入事例を知りたい」は48%で、「新製品/新商品をいち早く見たい」(4割弱)を上回りました。フォトネクストは、どちらかという新製品のお披露目の機会というよりも「その商品をどのように活用することができるのか(結果的に売上アップに結び付けられるか)」という視点でチェックする来場者が多いのです。

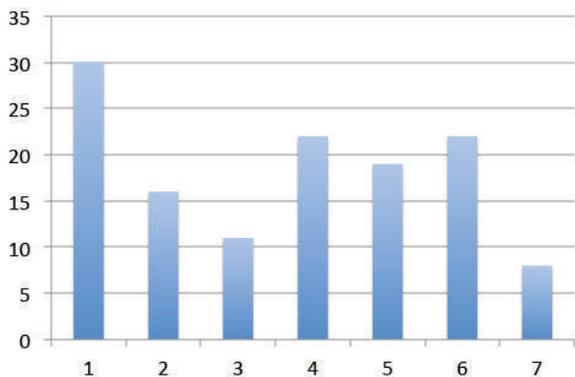
「今後どのような内容のセミナーを聞きたいか?」については、「撮影テクニック」が66%と1番多く、次いで「画像加工やプリント処理」(45%)、「機材や製品のテクニカル情報」(38%)と続きました。毎年、セミナープログラムで人気を集めているのが、ライティングやポーシングなどの

実技系やPhotoshopの効果的な使い方講座で、2019もこうした内容のセミナーには大勢の来場者が押しかけていました。

主催者としては、これまでに「電子出版」「3Dフィギュア」「4K8K」「ドローン」など、フォトビジネスの「NEXT」につながる提案を行ってきました。2018は特別企画展で、2019はメインステージで「VR」がもたらす新たな映像ビジネスの可能性に関するテーマを設けました。

2020もコアな部分のみならず「AI」「5G」「IoT」などといった革新的なテクノロジーやシステムなどが、次なるフォトビジネスにどのように関わってくるか、そんなプログラムも決行したいと考えています。ご期待ください!

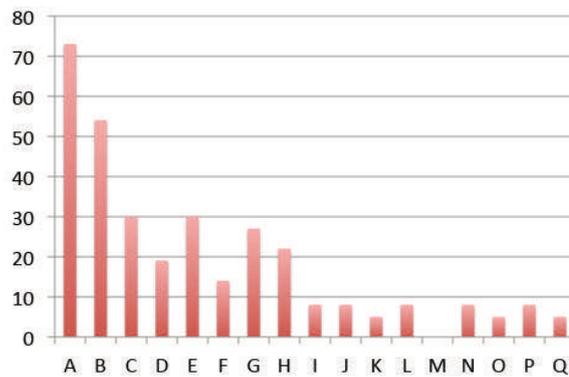
設けてほしい企画展 (複数回答)



■ 1: カメラやレンズ、アクセサリ等を使ってデモシューティング体験できる撮影関連機材コーナー  
 ■ 2: あらゆるプリンターやペーパーによるプリント体感コーナー ■ 3: フォトフィニッシングに関する印刷機材が集結したコーナー ■ 4: デザインアルバムやフォトブックの最新作が一堂に展示されるコーナー ■ 5: スタジオ装飾の参考になる造作コーナー ■ 6: ニューボーンなど特定の撮影写真に関連した商品・サービス提案コーナー ■ 7: その他 (単位: %)

出展社 voice

もっと来てほしい来場者層 (複数回答)



■ A: 写真館/スタジオ ■ B: フォトグラファー ■ C: メーカー/商社/ラボ ■ D: 一般/学生 ■ E: ブライダル関連ビジネス ■ F: デザイン/出版/印刷 ■ G: カメラ店/写真店/DPショップ ■ H: 衣装関連ビジネス ■ I: IT/通信関連ビジネス ■ J: 家電店/量販店 ■ K: ジャンルを問わず若年層 ■ L: ジャンルを問わず女性層 ■ M: ジャンルを問わず男性層 ■ N: 美容業界 ■ O: フューネラル業界 ■ P: ギフト業界 ■ Q: その他異業種 (単位: %)



# 走り出そう「NEXT10」へ! 企画力高めて、いざ出陣!!

「フォトレボリューション時代へ～NEXT10への挑戦」をメインコンセプトに  
いままでにない視点でのセミナー・イベントプログラムを執行します!

## ① みんなで語ろう近未来ビジネス～フォトサミット～

- 子供写真、学校写真、結婚写真…各ジャンル代表が集う公開シンポジウム
- ギフト、フューネラル、AI、5G…他業種・新技術がもたらす写真映像ビジネス
- テーマ別にゾーニング&ブース連動型セミナー・イベント構成



## ② NEXT プrintショップ～高品位出力体験～

- 老若男女、誰でも気軽に利用できる新しい写真専門店を模索
- 複数プリンター&ペーパーによるハイクオリティプリント体感
- 他業種コラボレーションによる商品・サービス・ワークショップ



## ③ プロライティングスキル習得～撮影ビジネス拡充へ～

- 1灯から多灯、クリップオンからモノブロックまでバラエティに富んだ照明ゾーン
- 撮影デモンストレーションを交えたセミナー・ワークショップも実施
- 出張撮影フォトグラファーマッチング登録会&アルバム展も同時開催



## 《人気イベント継続開催》

### ◎ 衣装展示即売コーナー

大人気のアウトレットコーナーに再び登場。  
拡販の場にご活用ください。

### ◎ ウェディングフォト・アワード

第11回目を迎えるプロ向け結婚写真コンテスト。次回からは協賛メーカーを募集します。

## 《公式HPもリニューアル》

各社商品・サービスのユーザーレビュー記事ページを用意。FacebookをはじめSNSでの告知や、月刊誌「スタジオNOW」にも掲載。ブース出展との連動にもつなげられます。

→お申し込み・お問い合わせは、[info@photonext.jp](mailto:info@photonext.jp)へ!



各プログラムの詳細は、公式ホームページ ([www.photonext.jp](http://www.photonext.jp))、facebook 等にて情報発信。

会期1ヵ月前には「開催案内パンフレット」を10万部発行、全国に向けて配送します!

# NEXT INFO

## 次号予告

# 2020 成功へのロードマップ



今後も 2020 に関する最新情報は、プロメディア発行の月刊誌「スタジオNOW」(写真上は 2019 年 5 月号表紙) やフォトネクスト公式ホームページなどを中心に発信していきます。



### 出展に向けて読み解く戦略・ハウツー

- ① 出展社&来場者が歩むべき NEXT10
- ② 効果的ブースづくり&販促展開
- ③ 来場者が期待する PHOTONEXT

## 主要スケジュール決定

- ◎第 1 次申し込み締め切り：1 月 31 日 (金)
- ◎最終申し込み締め切り：2 月 28 日 (金)
- ◎出展社説明会 / 小間割抽選会：3 月 17 日 (火)
- ◎搬入日：6 月 8 日 (月)
- ◎会期：6 月 9 日 (火) ~ 10 日 (水)

## 来場者増員につながるメディア露出

- ・会期前には新聞社や雑誌などさまざまな媒体に取り上げていただき、来場者増加に結びつきました。
- ・本番も多くのメディアが取材に来られ、誌面にて盛り上げていただきました。
- ・2020 年もメディア戦略に注力。話題性のある企画をたっぴりと盛り込みます。皆さまからの斬新なアイディアも随時募集!



フリーペーパー「横浜シーサイダー」JUNE2019



カメラ雑誌「CAPA」6月号(学研プラス発行)

# PHOTO NEXT 2020

フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

www.photonext.jp

主催：株式会社プロメディア  
 主催団体：写真感光材料工業会  
 日本フォトイメージング協会  
 一般社団法人日本写真映像用品工業会  
 特別協賛：日本営業写真器材協会

## NEXT INFO ②

- 本冊子は PHOTONEXT 関連トピックをまとめた通信誌です。
- 開催概要説明会以降も、さまざまな企画プログラムが立ち上がりましたら、本通信誌ではもちろん、公式ホームページやフェイスブック、月刊誌「スタジオNOW」などでタイムリーにお伝えいたします。ぜひとも注目してください。
- PHOTONEXT に関するお問い合わせは主催事務局まで (TEL: 03-3549-1231、FAX: 03-3549-1232、メール: info@photonext.jp)。